

2014 年度事業報告

I. 定期総会：2014 年 4 月 27 日(日) 於. 旭川市障害者福祉センターおびつた
参加施設：33 事業所

参加者数：108 名

議長：松永氏 (音の森旭川)

- ・決算報告・事業報告が可決された。
- ・事業計画(案)・予算(案)について可決された。

II. 研修会

1. 第 1 回研修会：4 月 27 (日) 於. 旭川市障害者福祉センターおびつた

(1) 基調報告：「平成 26 年度以降のサービス利用計画等の基本方針について」
旭川市福祉保険部 障害福祉課 鷲塚清貴氏

(2) 記念講演：「ことばの発達について」

北海道立旭川肢体不自由児総合療育センター
言語聴覚士 小野 栄治氏

(4) 参加者数：153 名 (会員～108 名 非会員～45 名)

2. 職員研修会：7 月 20 日 (日) 於 障害者福祉センターおびつた

(1) 講演：「発達障害の理解と支援について」

旭川厚生病院 副院長 沖潤一氏

(2) グループ討議

(3) 参加者：25 事業所 55 名

3. 施設長研修：11 月 30 日 (日)

(1) 講演：「これからの児童発達支援の在り方をめぐって」

うめだ・あけぼの学園 園長 加藤 正仁氏
(CDS JAPAN 会長)

(2) 座談会

(3) 参加者：31 事業所 45 名

※ 会員外の参加もあった。

3. 定例学習会：

(1) 6 月 24 日：28 名参加

こども部会設立に向けて、意見交換。

(2) 7 月 22 日：20 名参加

こども部会設立に向けて、意見交換。

(3) 2 月 25 日：18 名参加

こども部会の概要。

報酬改定に向けて意見交換。CDS JAPAN 管理者研修報告。

III. 子ども発達支援合同研修会：1 月 14 日 (水)

於：旭川大雪クリスタルホール・旭川市神楽公民館

「連携を通じた子どもの育ちを考える」

～幼・保・通所支援と学校との連携を考える～

(1) 講演：

「これからの共生社会における子ども発達支援について」
～障害者権利条約批准, インクルーシブ教育, 子育て支援からの障害児支援～
北海道教育大学旭川校 教授 安達 潤 氏

(2) 分科会

- 1) 第1分科会：「発達が気になる子どもの親へのアプローチはどうしたらいいの？」
- 2) 第2分科会：「就学・進学時の支援をどう繋ぎ、どう繋がるか？」
- 3) 第3分科会：「異業種間の望ましい連携を地域でどのように取り組むか？」
- 4) 第4分科会 「子どもの育ちの環境をどのようにサポートできるか？」

(3) 参加者数：283名

(4) 実行委員会：6月から月に1度 実行委員会を開催。

次年度の開催については、主催・開催内容・開催方法について要検討。

IV. 三役会

第1回：5月28日

- ・新年度の事業について

第2回：7月17日

- ・職員研修打ち合わせ

第3回：9月24日

- ・旭川市議会民生常任委員との意見交換について
- ・定例学習会とこども部会について
- ・11月の施設長研修について

第4回：3月6日

- ・定期総会について。

V. 通信

9月・3月

VI. こども部会

第1回：5月20日（火）

現状と課題の整理

第2回：7月1日（火）

「総合子ども・教育センター（仮称）実施計画案」の概要
「親子教室」「子ども・子育て新制度について」など意見交換

第3回：8月21日（木）

子ども・子育て新制度に関する旭川市の現状と課題の整理②他

第4回：10月16日（木）

子ども・子育て新制度に関する旭川市の現状と課題の整理③他

第5回：12月4日（木）

こども部会の目的。他の会議との役割分担。

第6回：1月28日（水）

こども部会で取り組む課題について。

第7回：3月18日（水）

VI. その他

(1) 新入会事業所の増加

33事業所から42事業所（25法人）が加盟となり、会員施設が増加。
個人会員も1名増え4名となった。

(2) 特別支援教育についての学習会

6月17日。10名程度参加。

(3) 民生常任委員会との意見交換会

日 時：2014年10月22日

出席者：廣岡会長・瀬川事務局長・渡邊監事・菅戸運営委員・
松永運営委員・佐藤（あそと）・安井（ねっと）・
瀬川俊（きらり）

内 容：旭児連の活動について民生常任委員会について概要説明し、
その後意見交換を行った。